

令和7年度

江戸川区立篠崎中学校 道徳教育全体計画

校長名

紅林 兼一

【法的根拠】

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標

- 1 よく学び、深く考える生徒
- 2 思いやりと規範意識のある生徒
- 3 すすんで体を鍛える生徒
- 4 社会に貢献する生徒

【地域の実情】【学校の実情】【子供の
実態】【教師の願い】【保護者の願い】
・明るく素直で、心優しい人、思いやり
のある人。・相手の気持ち、人のいた
みがわかる人・目標をもち、誠実で自
信と信念を持って生きる人。

学校の道徳教育の重点目標

- 1 基本的生活習慣を身につけ、心身の調和のとれた健康な生徒を育てる。
- 2 温かい人間愛の精神を深め、思いやりのある心優しい行動がとれる生徒を育てる。
- 3 自然を愛し、生命を尊重する生徒を育てる。
- 4 集団の一員としての自覚を深め、協力し合える生徒を育てる。

各学年の指導の重点

第1学年

・思いやりの心を育てるとともに、基
本的生活習慣を身に付け、充実した
中学校生活を送れるようにする。

第2学年

・個性を伸長するとともに、物事に
意欲的に取り組もうとする態度を養
い、集団生活を向上させる。

第3学年

・集団の一員としての自覚と自主的な
態度を養い、理想の実現を目指して、
自己の人生を切り開いて行くようにす
る。

各教科

国語

様々な優れた文章を通して人間の
生き方を考え、深く考える態度を身
に付ける。

社会

人間社会の様々な関係について学
び、人権尊重の精神を深める。

数学

筋道を立てて自ら問題を解決して
いく態度を養う。

理科

科学的思考力を高め、自然や生命
を尊重する態度を養う。

音楽

音楽的な感性を培い、豊かな情操
を養う。

美術

個性を尊重し、美しいものに感動
する豊かな心を育てる。

技術・家庭

安全に作業する習慣を身に付けさ
せ、作品の完成する喜びを味わわ
せる。

保健体育

基本的行動様式を身に付けさせると
ともに、健全な心身の育成を目
指す。

外国語

外国の言語や文化に対する関心を
深め、国際理解の精神を養う。

補
充
・
深
化
・
統
合

特別の教科道徳の時間

各学年の重点内容項目

1年

- ・節度、節制
- ・希望と勇気、克己と強い意志
- ・思いやり、感謝

2年

- ・向上心、個性の伸長
- ・希望と勇気、克己と強い意志
- ・思いやり、感謝

3年

- ・よりよい学校生活、集団生活の充実
- ・自主、自律、自由と責任
- ・希望と勇気、克己と強い意志
- ・思いやり、感謝

指導方針

- 1 教育活動全体を通して、生徒の道徳的心情を培うとともに、判断力、実践意欲を身につけさせる。
- 2 年間計画の作成と資料の整備を行い、道徳の時間の確保と副読本「心のノート」の活用を図る。

指導の工夫

- 1 ボランティア活動や学校行事の体験活動の位置づけを取り入れる。
- 2 学校の特色を生かした道徳教育を計画するとともに、重点的な道徳教育を展開するよう計画する。

補
充
・
深
化
・
統
合

特別活動

学級活動

・集団生活の中で責任ある行動のとれ
る生活態度を養い将来の生き方につ
いて積極的に考える姿勢を育てる。

生徒会活動

自主的な活動ができる態度を養う。自
主的な活動を通して個性を伸長し、協
力して好ましい人間関係を育てる。

学校行事

・行事への参加を通して集団に奉仕で
きる態度を養う。

総合的な学習の時間

- 1 自ら課題を見つけ、自ら学び、
考え、解決していく能力を育成
し、社会の変化に対応できる
能力を育てる。
- 2 情報を正しく判断し、適切に活
用できる能力を育てる。
- 3 自分の考えを最適な方法で分
かりやすく表現できる能力を育
てる。
- 4 職場体験や移動教室、修学旅
行、学校行事など体験的な活
動を通して、自己の生き方を
考える態度を養う。
- 5 読書を通して、思考力、表現
力を育てる。

生活指導

- ・基本的生活習慣を身に付け、集団の
一員としての向上を図る。
- ・正しいことを自ら行なう判断力と実行
力を養う。
- ・物を大切にし、他を尊ぶ心を養う。

環境整備

- ・校舎、物品の美化整備を図る。
- ・言葉遣いに気を付け、言語環境の整
備を図る。

家庭・地域との連携

- ・授業参観と保護者会・道徳地区公
開講座・地区別懇談会・校外美化活
動など地域活動への参加。・学校だ
より、学年・学級通信の発行・道徳の
教材に保護者の体験談や感想などを
取り上げる。

推進体制

- ・道徳推進教諭、各学年の道徳
担当者を配置し、健全育成に努
力する。